



2019年11月6日

各 位

会 社 名 株式会社ゴールドウイン
 代表者名 代表取締役社長 西田 明男
 (コード番号 8111 東証第一部)
 問合せ先 取締役副社長執行役員管理統括本部長
 兼管理本部長 二川 清人
 (TEL 03-3481-7203)

第2四半期業績予想値と決算値との差異および 通期業績予想の修正に関するお知らせ

2019年8月2日に修正しました2020年3月期第2四半期累計期間の業績予想につきまして、本日発表の実績値との間に差異が生じたのでお知らせします。

また、2019年5月14日に公表しました2020年3月期の通期業績予想につきましても下記の通り修正いたしましたのでお知らせします。

記

1. 第2四半期業績予想値と決算値との差異について

第2四半期連結累計期間 (2019年4月1日～2019年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円銭
前回発表予想 (A)	40,000	3,700	3,400	2,000	44.19
今回実績 (B)	41,168	5,537	5,292	3,597	79.47
増減額 (B-A)	1,168	1,837	1,892	1,597	—
増減率 (%)	2.9	49.6	55.6	79.9	—
(参考) 前第2四半期実績 (2019年3月期第2四半期)	33,405	3,128	2,716	1,563	34.19

第2四半期個別累計期間 (2019年4月1日～2019年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円銭
前回発表予想 (A)	33,000	2,600	3,600	2,450	54.14
今回実績 (B)	33,695	3,752	4,853	3,730	82.42
増減額 (B-A)	695	1,152	1,253	1,280	—
増減率 (%)	2.1	44.3	34.8	52.2	—
(参考) 前第2四半期実績 (2019年3月期第2四半期)	28,487	2,525	3,284	2,378	52.01

※2019年10月1日を効力発生日として普通株式1株につき2株の割合をもって株式分割を実施しております。これに伴い、連結・個別とも前会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益を算定しております。

差異の理由

売上高については、「ザ・ノース・フェイス」ブランドが直営店のみならず、eコマース販売や卸売店等の幅広い販売チャネルで好調を維持し、「カンタベリー」ブランドもラグビーワールドカップ2019日本大会での日本代表レプリカジャージの売上が極めて好調に推移するなど増収となりました。利益についても増収による粗利益の増加に加え、直営店やeコマース販売等の自主管理型売上の拡大、調達原価率低減等により修正予想を上回る結果となりました。

2. 通期業績予想の修正について

通期連結業績予想（2019年4月1日～2020年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円銭
前回発表予想（A）	92,000	12,500	13,800	9,700	213.14
今回修正予想（B）	97,000	15,000	16,000	11,100	245.23
増減額（B－A）	5,000	2,500	2,200	1,400	—
増減率（%）	5.4	20.0	15.9	14.4	—
（参考）前期連結実績 （2019年3月期）	84,934	11,861	12,982	9,243	203.11

通期個別業績予想（2019年4月1日～2020年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円銭
前回発表予想（A）	78,000	9,900	11,500	8,000	175.79
今回修正予想（B）	82,000	12,000	13,500	9,400	207.67
増減額（B－A）	4,000	2,100	2,000	1,400	—
増減率（%）	5.1	21.2	17.4	17.5	—
（参考）前期個別実績 （2019年3月期）	72,845	9,882	11,341	7,915	173.94

※2019年10月1日を効力発生日として普通株式1株につき2株の割合をもって株式分割を実施しております。これに伴い、連結・個別とも前会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり当期純利益を算定しております。

修正の理由

第2四半期累計の実績が好調に推移したことに加え、10月以降も秋冬商品の販売が計画通りに進んでおり、連結・個別ともに売上高・利益、全て公表値を上回る見込みとなったことから通期の業績予想を修正いたします。

以 上